

「令和元年度破損燃料輸送・貯蔵に係る技術調査」  
輸送容器の選定結果について

三菱重工業株式会社  
2019年12月12日

1. 適合性検討

平成 29 年度調査「破損燃料輸送・貯蔵に係る動向調査（分析試料輸送）」に候補として挙げられた 12 基の輸送容器について、デブリサンプル輸送の適合性を調査した。総合評価の結果、MS-1 及び NFI-XB が候補として挙げられる。（詳細は、添付資料参照）

2. 輸送計画に関する情報

令和元年 5 月 16 日、日本核燃料開発、東京電力ホールディングスと原子力規制庁との面談記録、規制庁殿公開情報「日本核燃料開発（株）による設計承認申請（NFI-XB 型核燃料輸送物）に係る面談について(1)」の議事要旨に、下記の旨が記載されている。

(原子力規制委員会 HP : <http://www2.nsr.go.jp/disclosure/meeting/TRAN/201906.html>)

- ・ 日本核燃料開発が NFI-XB の設計承認及び容器承認の取得を計画中
- ・ 燃料デブリサンプルを収納する収納缶を説明
- ・ 申請時期として 2019 年 5 月を予定
- ・ 2018 年 7 月 26 日に東電より公表されたサンプルと分析の計画に基づく計画（2020 年度下期以降に実施されるサンプリングで採取したものを輸送予定）

本面談記録より、デブリサンプルを NFI-XB で輸送する計画があることが推測できる。

3. 選定結果

1. 2. の検討により、デブリサンプルを輸送する輸送容器の候補として、MS-1 及び NFI-XB が挙げられる。両者とも、デブリサンプル輸送の適合性を満足する上で、前者は弊社製のキャスクであり弊社が設計情報を有していること、後者はデブリサンプルを輸送する際の具体的な計画が進んでいること、が主要な選定理由となる。

ここでは、使用の実計画が具体化している輸送容器の方が、より実態に則した有効な調査が可能となると考えられることから、原子燃料工業所有の NFI-XB キャスクを選定対象とし、「安全性評価項目の感度調査」を実施することとする。

4. まとめ

輸送容器の選定について、原子燃料工業所有の B(U)型輸送容器 NFI-XB を候補とし、今後「安全性評価項目の感度調査」を実施することとする。

以上